

8. 歯

(1) 歯の本数

問27 現在、あなたの歯は何本ありますか。親知らず・さし歯も含め、全て数えます。

※永久歯の本数は28本です。(親知らずが4本ある場合は32本となります)

※さし歯とは、残っている歯根の上に人工的に歯を作っているものをいいます。また、インプラントは数に含めません。

全体では、「28本以上」が45.5%、「20～27本」が31.5%で、この2つを合わせた《20本以上》は77.0%となっている。「10～19本」は8.7%、「1～9本」は5.1%、「0本」は2.4%である。

(図8-1-1)

性別にみると、《20本以上》は女性(78.4%)が男性(75.1%)より3.3ポイント高くなっている。

(図8-1-1)

性・年齢別にみると、《20本以上》は男性15～49歳、女性15～59歳で9割を超えている。80歳以上で《20本以上》は男性35.6%、女性31.5%で男女合わせて33.3%となっている。また、40～49歳で「28本以上」は男性74.5%、女性71.6%で男女合わせて72.8%となっている。(図8-1-2)

図8-1-1 歯の本数(全体/性別)

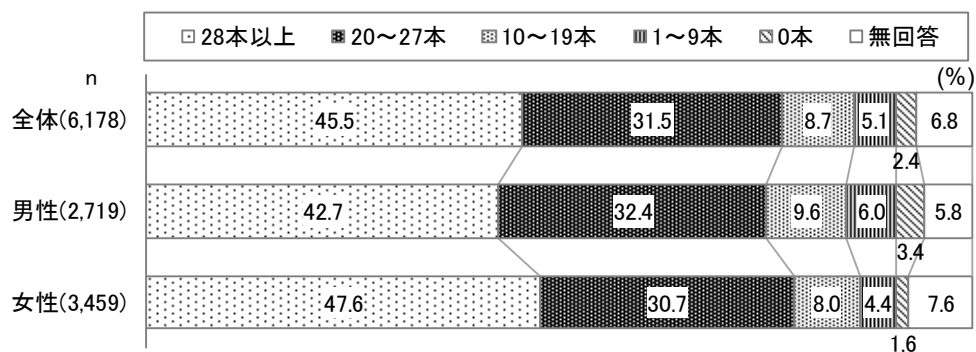
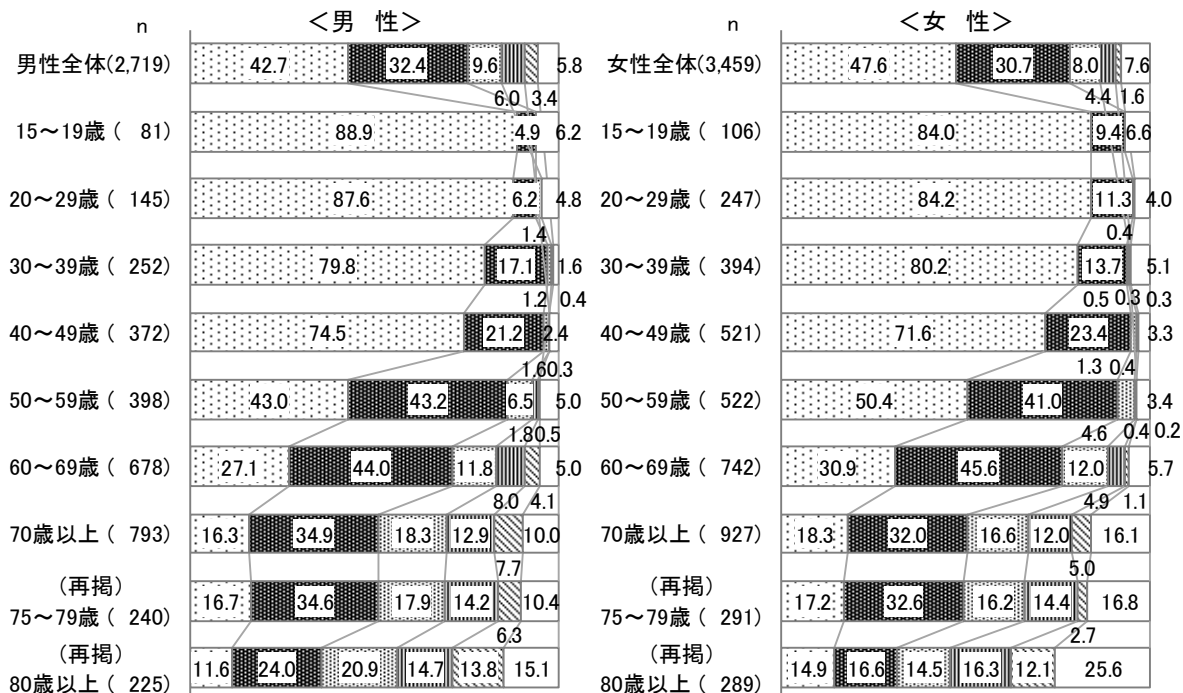


図8-1-2 歯の本数(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「28本以上」は平成23年度以降増加傾向にある。(図8-1-3)
 性別で過去の調査と比較すると、「28本以上」は男女ともに平成23年度以降増加傾向にある。

(図8-1-4)

図8-1-3 歯の本数（過去の調査との比較）

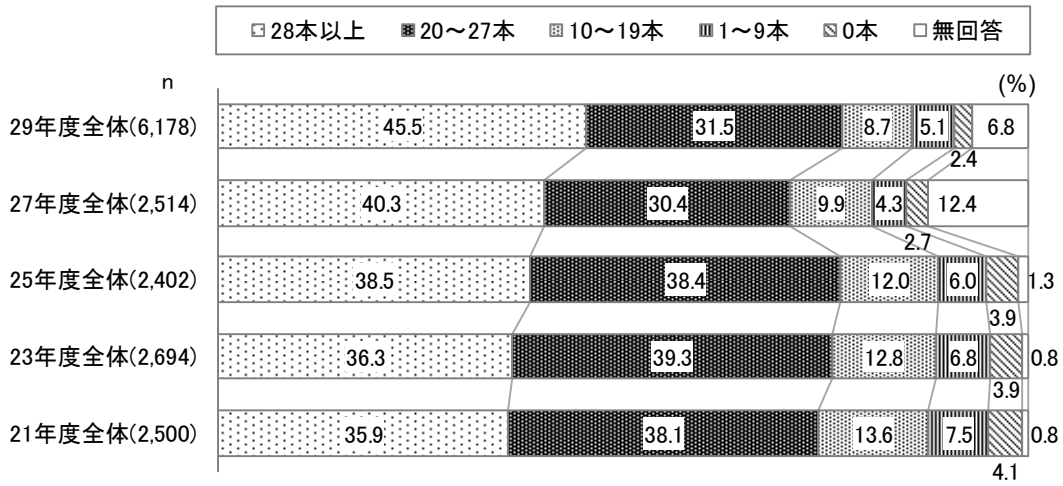
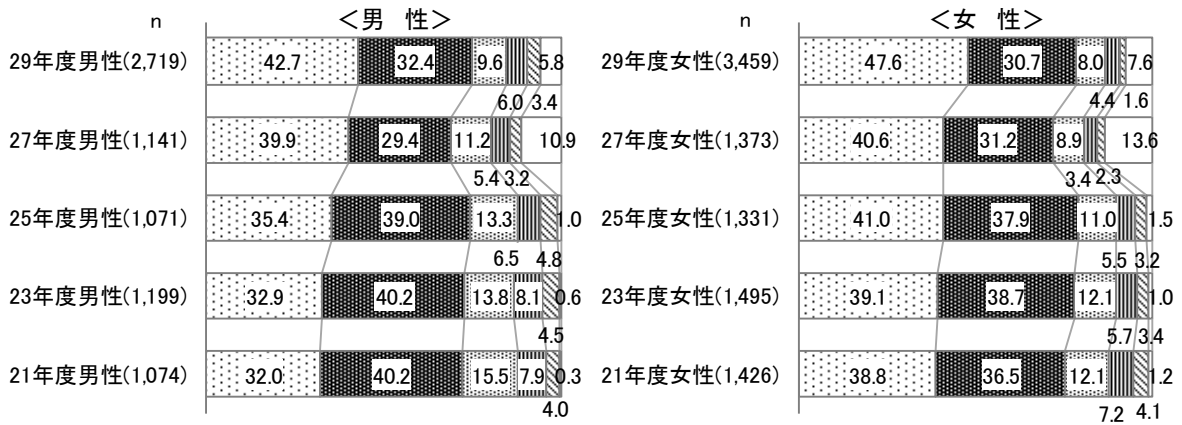


図8-1-4 歯の本数（過去の調査との比較・性別）



※今回調査より、「※永久歯の本数は28本です。(親知らずが4本ある場合は32本となります)」の説明を追加。

(2) 最近1年間の歯の健康診査の受診状況

問28 あなたは、この1年間に歯の健康診査を受けていますか。(〇はひとつ)

全体では、「はい」が56.8%、「いいえ」が41.9%となっている。(図8-2-1)

性別にみると、「はい」は女性(59.7%)が男性(53.2%)より6.5ポイント高くなっている。

(図8-2-1)

性・年齢別にみると、「はい」は男女とも15～19歳で最も高い。男性は20歳以上の年代では、おおむね年代が高くなるほど割合が高くなっている。また、20歳以上で「はい」は男性52.8%、女性59.2%で男女合わせて56.4%となっている。(図8-2-2)

図8-2-1 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(全体/性別)

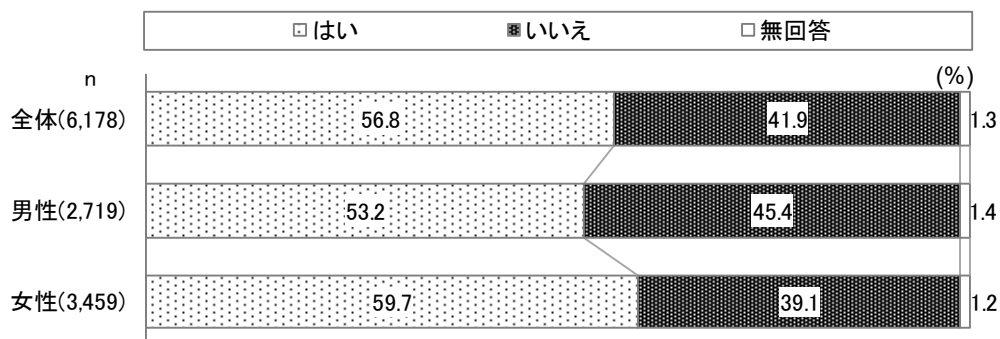
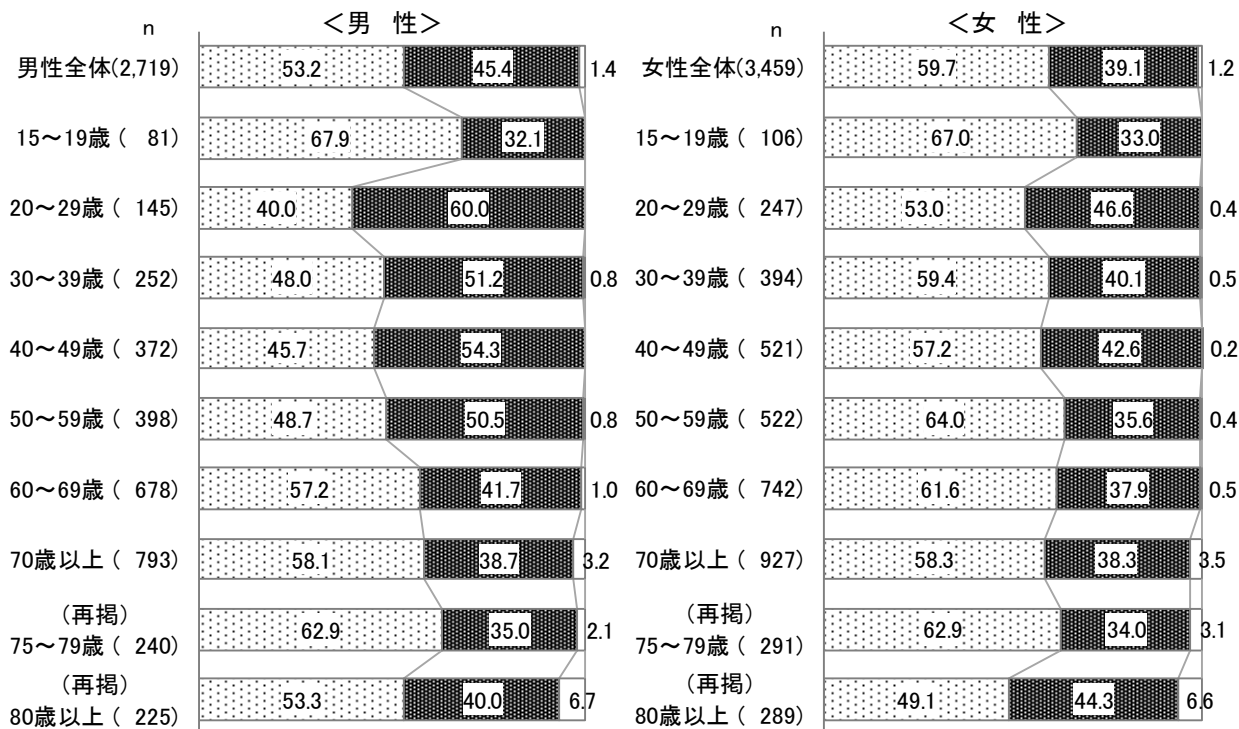


図8-2-2 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(56.8%)は、平成27年度(58.3%)より1.5ポイント減少している。(図8-2-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は男性(53.2%)で平成27年度(56.9%)より3.7ポイント減少している。(図8-2-4)

図8-2-3 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較)

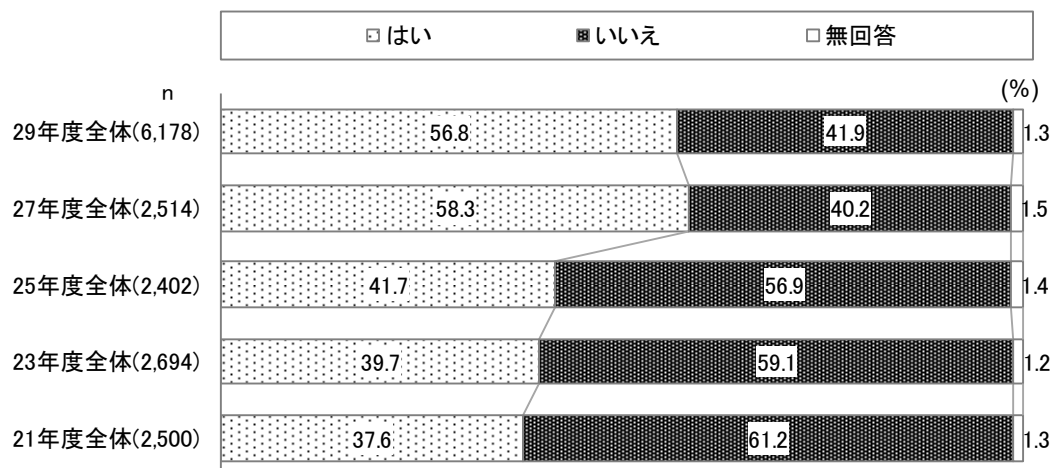
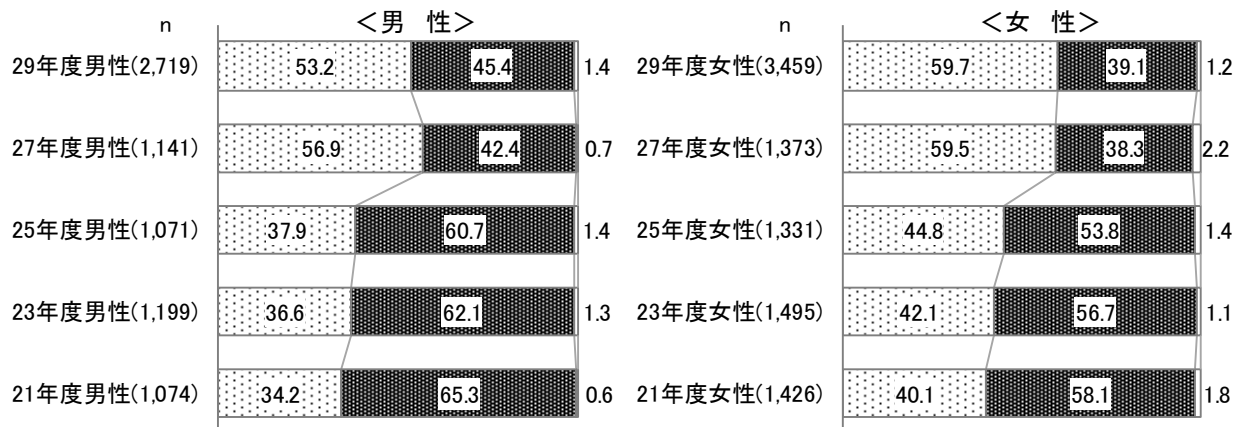


図8-2-4 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較・性別)



(3) 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況

問29 あなたは、この1年間に歯石除去や歯面清掃を受けていますか。(〇はひとつ)

全体では、「はい」が51.9%、「いいえ」が46.5%となっている。(図8-3-1)
性別にみると、「はい」は女性(55.7%)が男性(47.0%)より8.7ポイント高くなっている。

(図8-3-1)

性・年齢別にみると、「はい」は、男性では60~69歳(51.5%)、70歳以上(51.3%)で高く、女性では50~59歳(61.5%)、60~69歳(60.5%)で高くなっている。(図8-3-2)

図8-3-1 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(全体/性別)

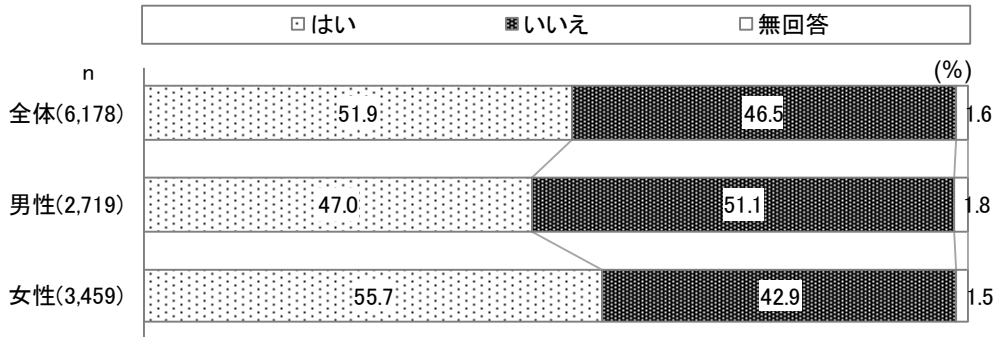
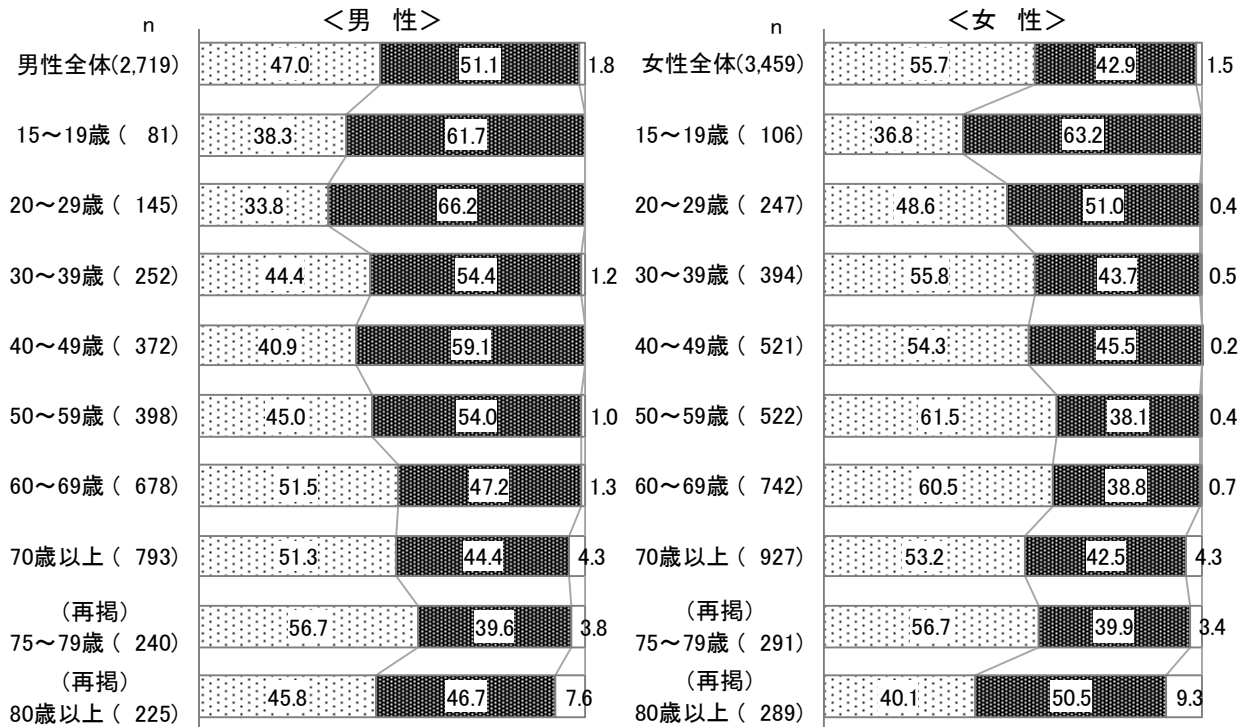


図8-3-2 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(51.9%)は、平成27年度(53.5%)より1.6ポイント減少している。(図8-3-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は男性(47.0%)で平成27年度(50.1%)より3.1ポイント減少している。(図8-3-4)

図8-3-3 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較)

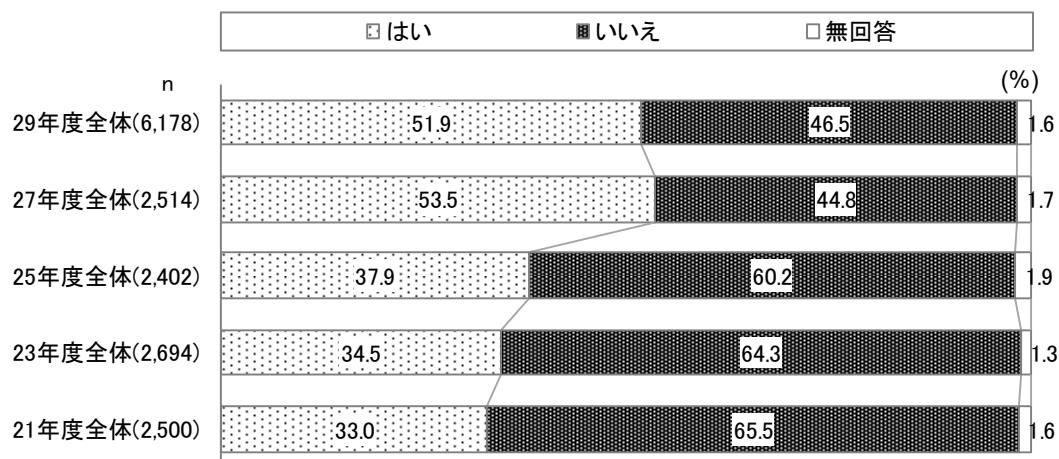
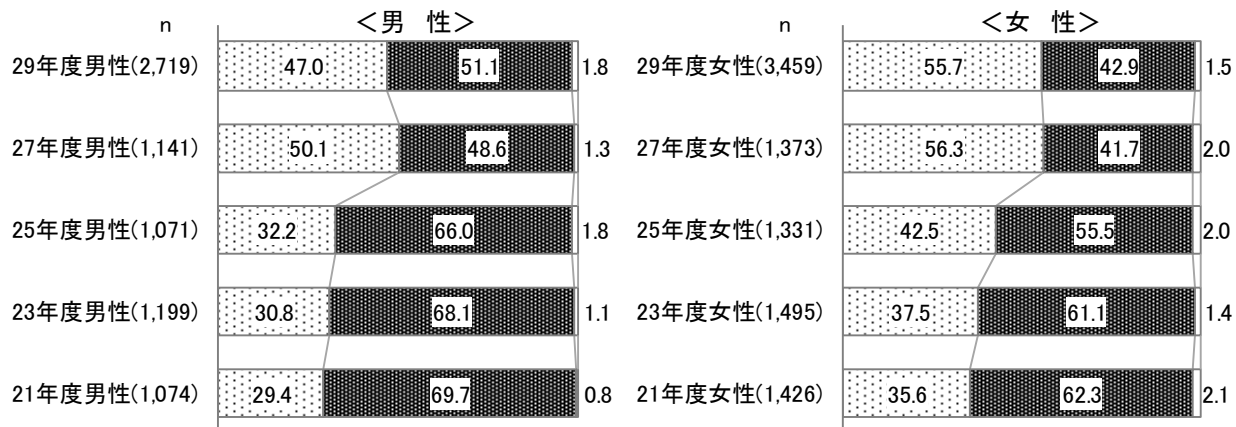


図8-3-4 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較・性別)



(4) 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度

問30 あなたは、歯ブラシ以外の器具（デンタルフロス、歯間ブラシ等）を使って、歯の手入れをしていますか。（○はひとつ）

全体では、「週に5日以上使っている」が24.9%となっている。「週に3～4日使っている」が7.6%、「週に1～2日使っている」が11.8%、「ほとんど使わない(月に1日以上)」が16.3%、「使っていない」が37.5%である。(図8-4-1)

性別にみると、「週に5日以上使っている」は女性(28.1%)が男性(20.9%)より7.2ポイント高くなっている。「使っていない」は男性(47.0%)が女性(30.1%)より16.9ポイント高くなっている。(図8-4-1)

性・年齢別にみると、「週に5日以上使っている」は男性60歳以上、女性50歳以上で高くなっている。(図8-4-2)

図8-4-1 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（全体／性別）

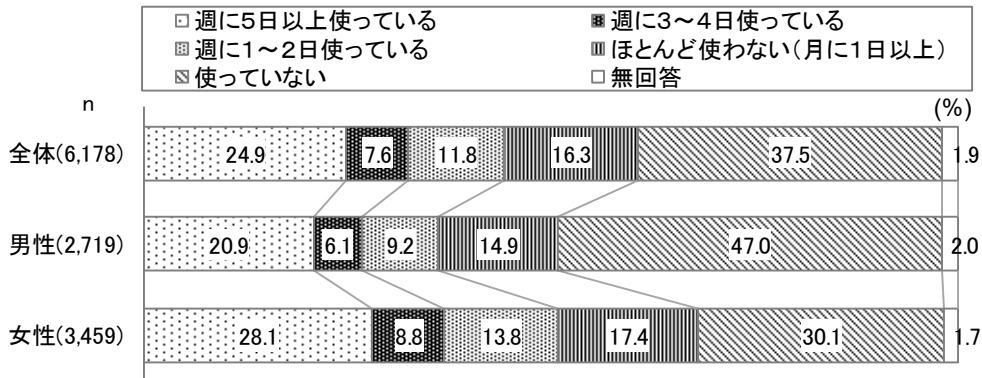
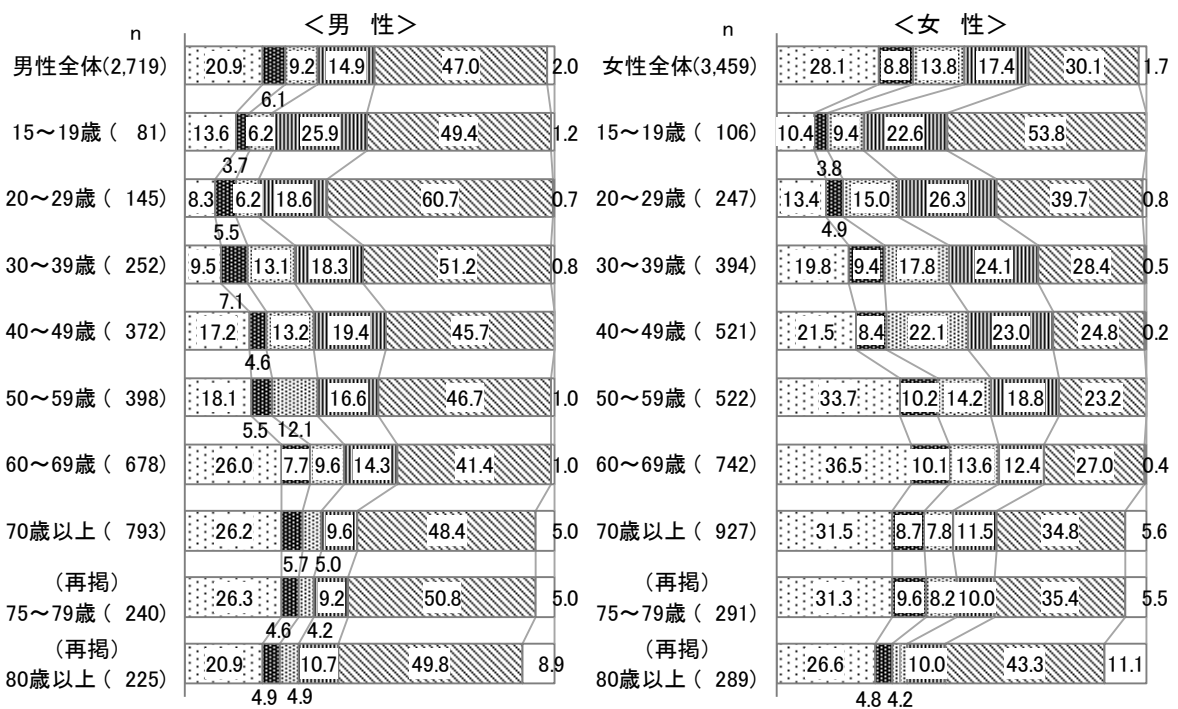


図8-4-2 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「使っていない」(37.5%)は平成27年度(39.5%)より2.0ポイント減少している。(図8-4-3)

性別で過去の調査と比較すると、「使っていない」は男女ともに減少している。(図8-4-4)

図8-4-3 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較)

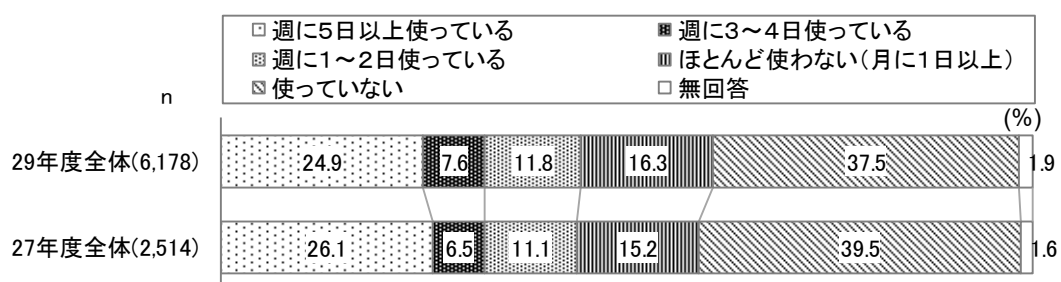
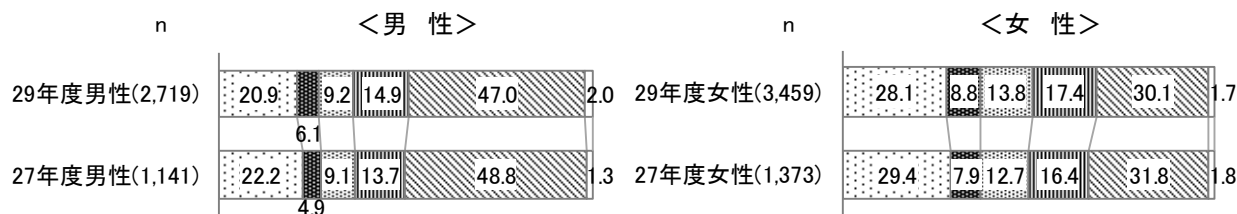


図8-4-4 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査では「ほぼ毎日使っている」を、今回「週に5日以上使っている」に変更した。

※平成21・23・25年度調査では、この質問をしていない。

(5) 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況

問31 あなたは、歯ぐきから出血したり、歯がぐらついたりしていますか。(○はひとつ)

全体では、「そのような症状はない」が61.5%となっている。「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」が25.9%、「歯ぐきが腫れている」は3.7%、「歯がぐらついている」は6.2%である。

(図8-5-1)

性別にみると、「そのような症状はない」は女性(62.7%)が男性(60.0%)より2.7ポイント高くなっている。「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」は女性(26.3%)が男性(25.5%)より0.8ポイント高くなっている。(図8-5-1)

性・年齢別にみると、「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」は男性30~39歳で40.9%、女性30~39歳で41.1%と高くなっている。(図8-5-2)

図8-5-1 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(全体/性別)

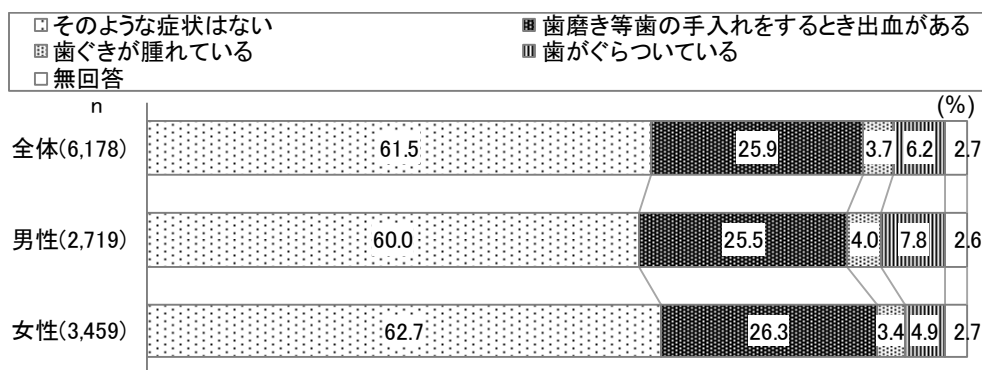
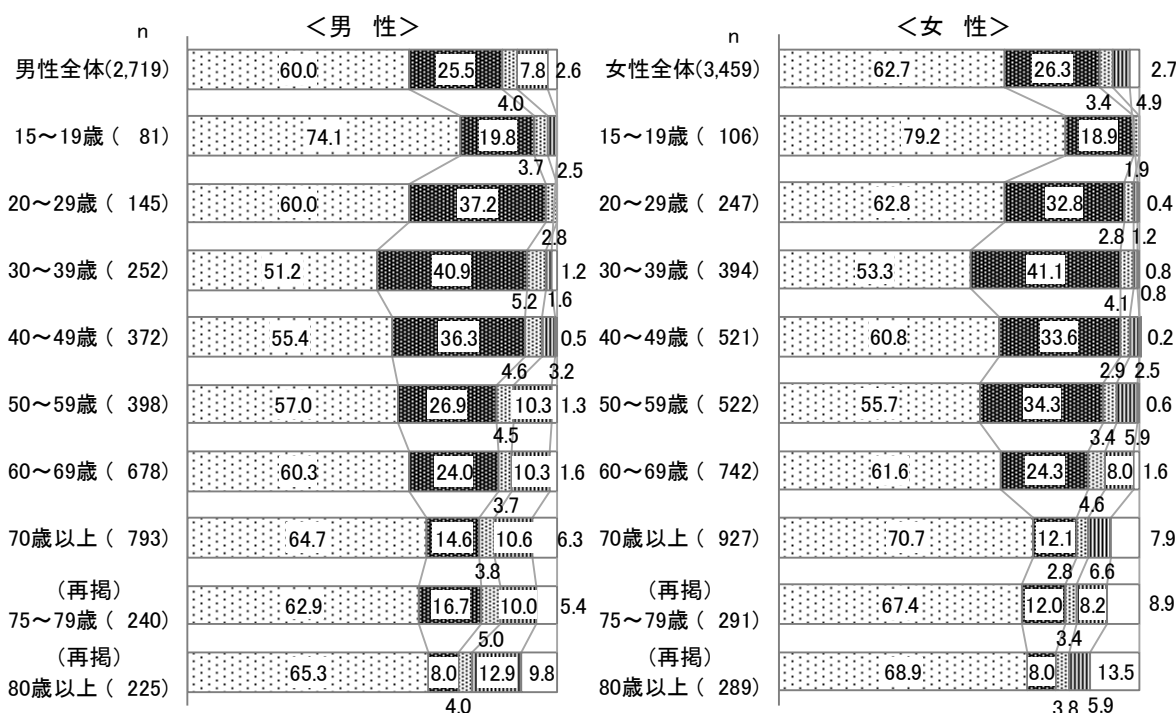


図8-5-2 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「そのような症状はない」(61.5%)が、平成27年度調査(64.6%)より3.1ポイント減少している。(図8-5-3)

性別で過去の調査と比較すると、女性で「そのような症状はない」(62.7%)が平成27年度調査(67.8%)より5.1ポイント減少している。(図8-5-4)

図8-5-3 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較)

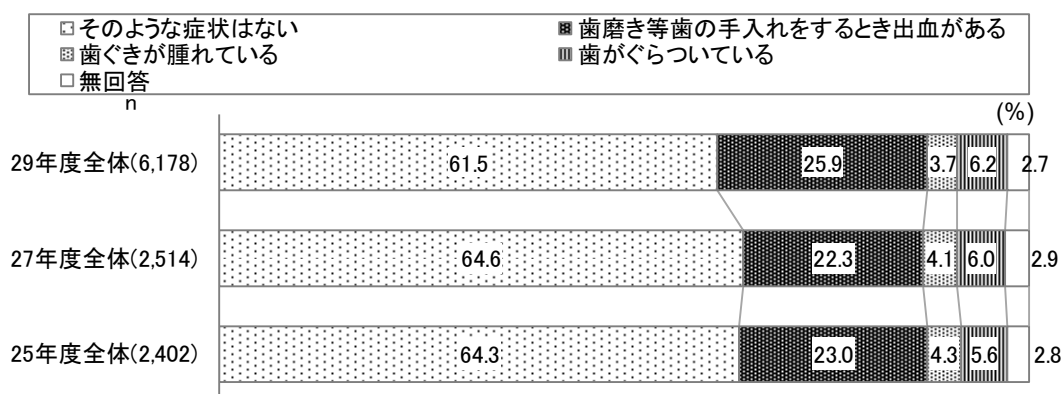
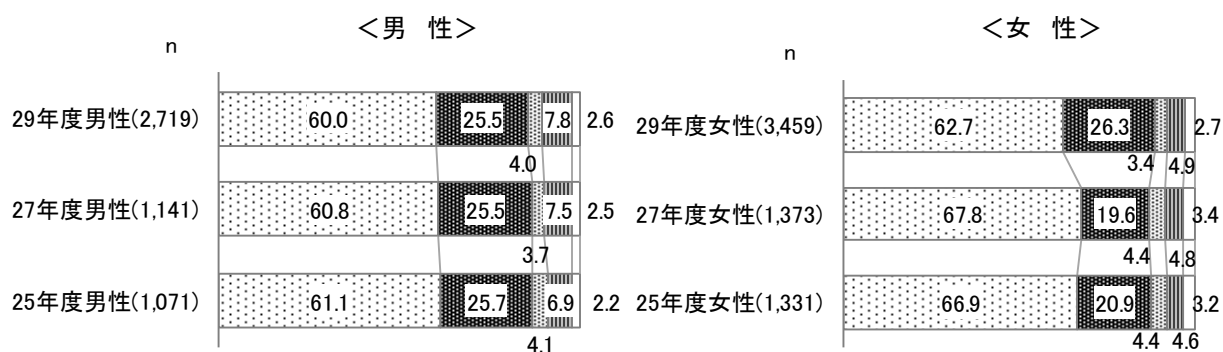


図8-5-4 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較・性別)



※平成 25・27 年度調査では「歯を磨くとき、出血がある」を、今回「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」に変更した。

※平成 21・23 年度調査では、この質問をしていない。

(6) 口の中を観察する習慣

問32 あなたは、自分の口の中（歯や歯肉の状態）を観察する習慣がありますか。（○はひとつ）

全体では、「毎日ある」が25.7%となっている。「週に1回程度ある」が26.9%、「月に1回程度ある」は15.4%、「ない」は30.5%である。（図8-6-1）

性別にみると、「毎日ある」は女性（30.5%）が男性（19.6%）より10.9ポイント高くなっている。
（図8-6-1）

性・年齢別にみると、「毎日ある」は女性50～59歳で34.5%、女性60～69歳で32.3%、女性70歳以上で32.0%と高くなっている。「ない」は男性15～19歳で43.2%、男性20～29歳で44.1%と高くなっている。（図8-6-2）

図8-6-1 口の中を観察する習慣（全体／性別）

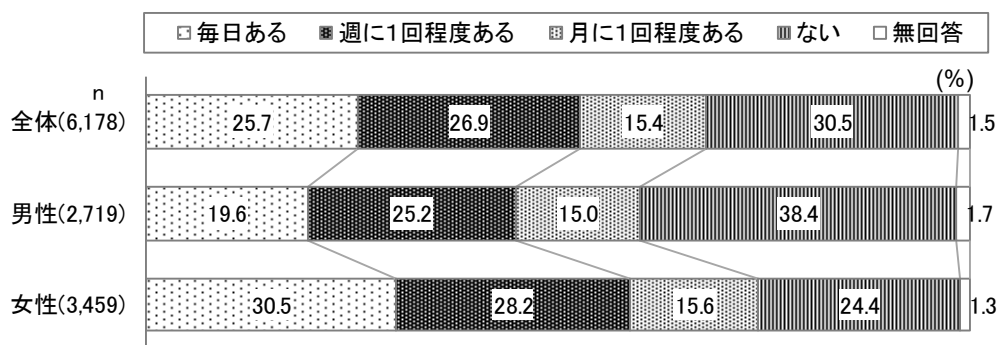
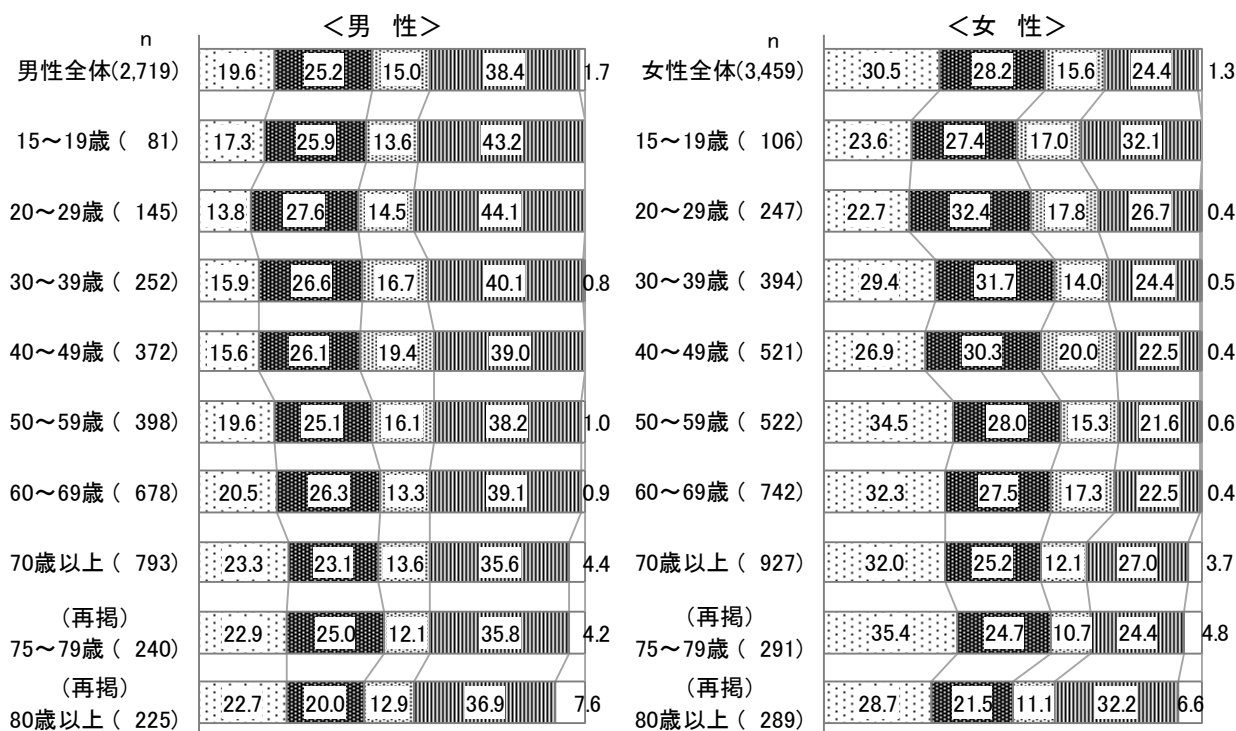


図8-6-2 口の中を観察する習慣（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「毎日ある」(25.7%)は、平成27年度調査(27.1%)より1.4ポイント減少している。(図8-6-3)

性別で過去の調査と比較すると、「毎日ある」は女性(30.5%)で平成27年度(33.0%)より2.5ポイント減少している。(図8-6-4)

図8-6-3 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較)

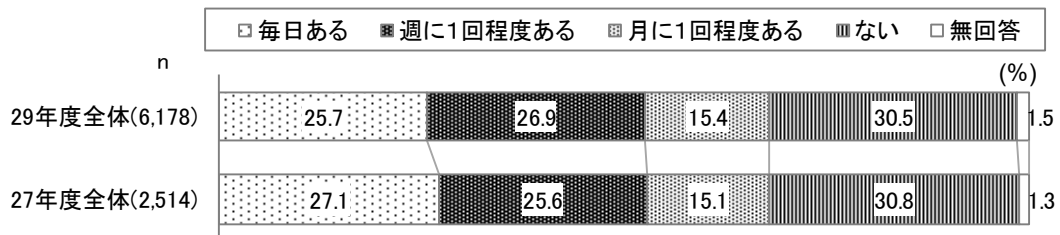
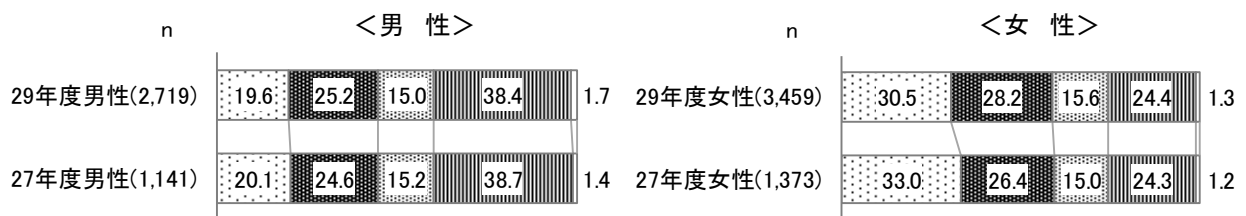


図8-6-4 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査から選択肢を変更している。

(7) ものをかんで食べることができるか

問33 あなたは、ものを噛んで食べるとき、どのような状態ですか。(〇はひとつ)

全体では、「何でも噛んで食べることができる」が74.7%となっている。「噛めない食べ物が少しある」は19.4%、「噛めない食べ物が多い」は2.7%、「噛んで食べることができない」は0.6%である。(図8-7-1)

性別にみると、「何でも噛んで食べることができる」は女性(76.0%)が男性(73.2%)より2.8ポイント高くなっている。(図8-7-1)

性・年齢別にみると、「何でも噛んで食べることができる」は男性20~39歳の年代、女性15才~39歳の年代で9割を超えており、おおむね年代が高くなるほど割合が低くなっている。また、60~69歳で「何でも噛んで食べることができる」は男性67.3%、女性71.7%で男女合わせて69.6%となっている。(図8-7-2)

図8-7-1 ものをかんで食べることができるか(全体/性別)

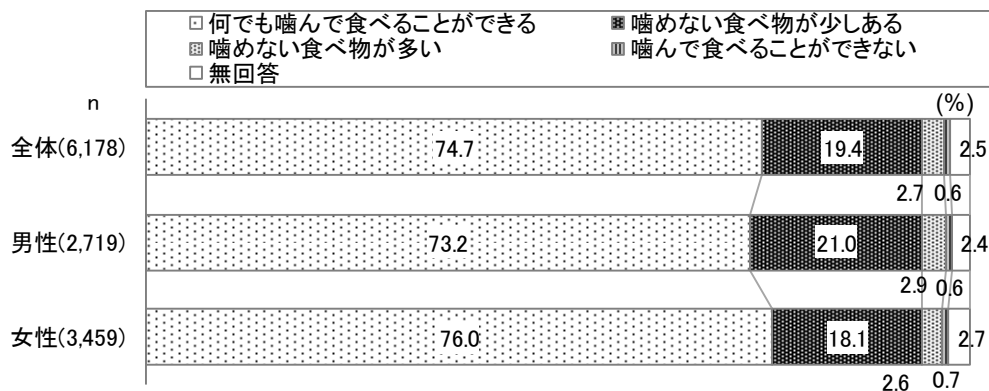
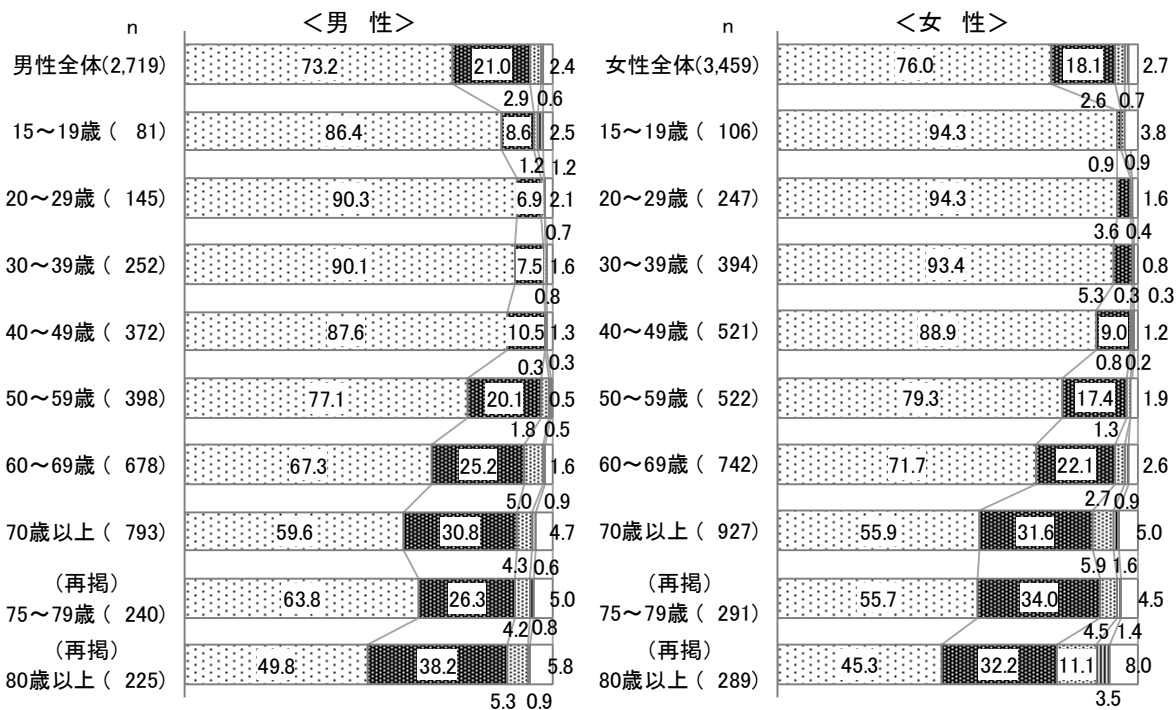


図8-7-2 ものをかんで食べることができるか(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「何でも噛んで食べることができる」(74.7%)は、平成27年度(75.8%)より1.1ポイント、平成25年度(78.0%)より3.3ポイント減少している。(図8-7-3)

性別で過去の調査と比較すると、「何でも噛んで食べることができる」は男女ともに減少傾向である。(図8-7-4)

図8-7-3 ものをかんで食べることができるか(過去の調査との比較)

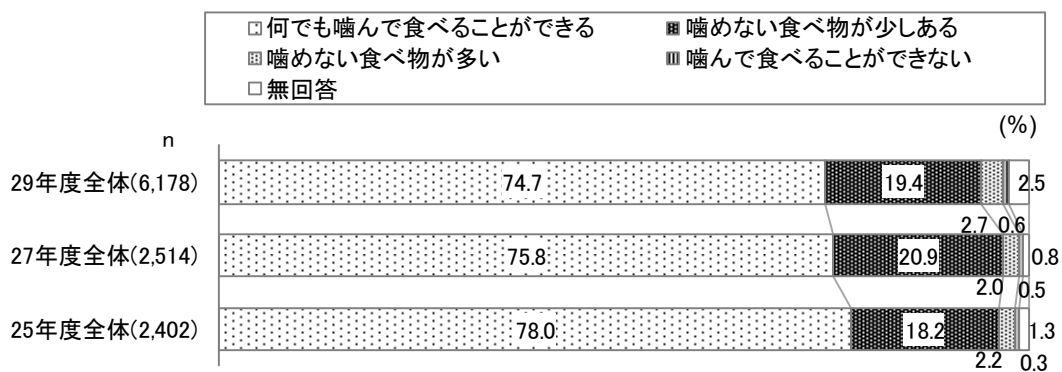
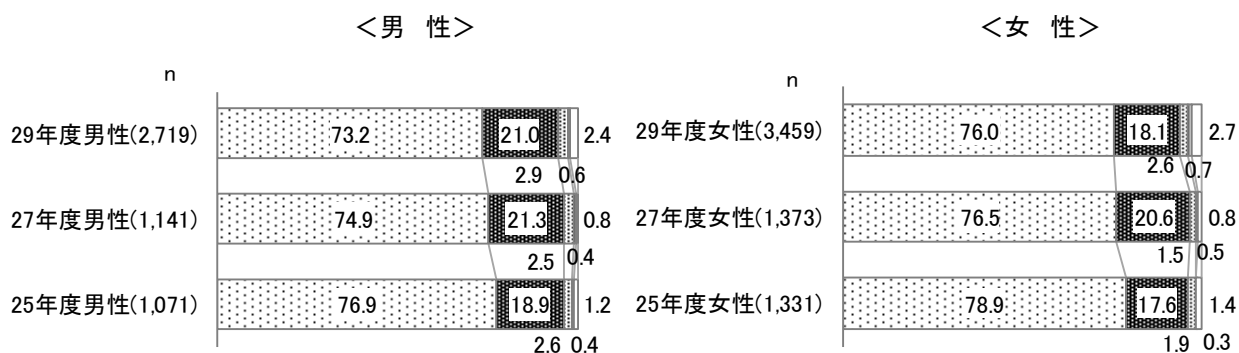


図8-7-4 ものをかんで食べることができるか(過去の調査との比較・性別)



※平成21・23年度調査では、この質問をしていない。

(8) ふだんゆっくりよく噛んで食べているか

(問33で「何でも噛んで食べることができる」、「噛めない食べ物が少しある」、または「噛めない食べ物が多い」とお答えの方に)
 問33-1 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。(○はひとつ)

全体では、「ゆっくりよく噛んで食べている」が9.3%、「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」が36.2%で、この2つを合わせた《ゆっくりよく噛んで食べている》は45.5%となっている。「ゆっくりよく噛んで食べていない」(13.8%)と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない」(39.4%)の2つを合わせた《ゆっくりよく噛んで食べていない》は53.2%となっている。(図8-8-1)

性別にみると、《ゆっくりよく噛んで食べている》は女性(48.7%)が男性(41.5%)より7.2ポイント高くなっている。(図8-8-1)

性・年齢別にみると、《ゆっくりよく噛んで食べている》は男女とも15~19歳、70歳以上で高くなっている。(図8-8-2)

図8-8-1 ふだんゆっくりよく噛んで食べているか(全体/性別)

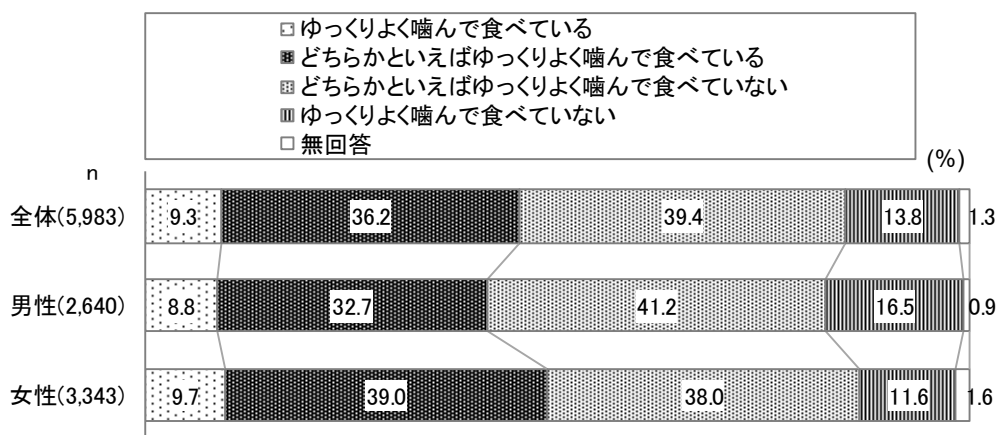


図8-8-2 ふだんゆっくりよく噛んで食べているか(性・年齢別)

